

安心して小学校生活をスタートするために

千葉県野田市立南部小学校 教諭 多々納 絵里

スタートカリキュラムのねらい

小学校学習指導要領では、小学校の入学当初は、生活科を中心としたスタートカリキュラムを編成・実施することが示されています。また、「幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること」と示されており、幼児期に遊びを通して育まれてきたことを各教科等での学習へとつなげていくことが求められています。

そこで、本校のスタートカリキュラムでは、NHK for School の番組『すたあと』を取り入れながら、「安心して自己を発揮できる児童」「他者との関わりを楽しみ、それを広げようとする児童」「自分の思いや願いをもち、夢中になって学ぶ児童」を目指し、実践しました。



授業の流れとポイント

①「じこしょうかいげえむ」

自己紹介を通して、友達のことを知る機会として、入学後4日目に実践しました。まずは、「じこしょうかいげえむ」を視聴し、活動の内容を子どもたちと確認しました。番組の子どもたちと同じように、画用紙に自分の名前と、好きなものを絵に描きました。好きなものは、「いちご」や「うさぎ」など、短時間で描いていました。自己紹介をするときには、「わたしのなまえは、〇〇です。好きなものは、～です。よろしくおねがいします。」と、話す内容を子どもたちと確認してから行いました。そして、好きなものを見せながら自己紹介をしていきました。そして自己紹介をしたら、互いの画用紙にシールを貼っていくようにしました。今回は、シールを貼る活動にしましたが、サインを書き合う活動も考えられます。このようにして、自然と友達と関わり、友達の名前や好きなものを知ることができました。シールを集めようと、いろいろな子に声をかける姿から、他者との関わりを楽しんでいる姿が見られました。

第2週テーマ【がっこうだいすき たのしい なんふしょうがっこう】 1年生になったことを喜び、学校生活を不安なく過ごせる。					
日	第2日(4/11月)	第3日(4/12火)	第4日(4/13水)	第5日(4/14木)	第6日(4/15金)
行事	11:00下校	11:00下校	11:00下校	11:00下校	11:00下校
朝	朝の支度→のんびりタイム				
1	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう
2	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう
3	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう
4	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう	<なまよしタイム> ①朝の会(言葉遊び、提出物や課題の確認など)②歌おう、読もう読みながら読もう(読書タイムなど)③昼休み(お楽しみタイム)④給食をいそいそと食べよう



②「ねんどのぱんやさん」

図画工作の学習の導入として、実践しました。まずは、番組「[ねんどのぱんやさん](#)」を視聴し、幼児期にも行っていた粘土遊びをすることと、学習のゴールは、パン屋さんになって自分のパンをお客さんに買ってもらうことを確認しました。幼児期に経験している粘土遊びなので、子どもたちは、思い思いに粘土でパンを作ることができます。パンができあがると、粘土板の上にきれいに並べたりお店の看板を作ったりする児童もいました。最初は座席の半分の児童がパン屋さんです。パン屋さんごっこを始めてみると、多くのお客さんが来るお店とそうではないお店がありました。活動の途中で、大人気のパン屋さんにするためにはどうしたらよいかを考えさせました。子どもたちは、「『いらっしやいませ!』と元気よく言う。」「『おすすめは、～です。』と教える。」などとアイデアを出し合いました。すると、お客さんも、「今日のおすすめパンは何ですか。」と聞くなど、会話をたくさんしながら楽しく活動することができました。このようにして、パン屋さんごっこを通して自分が作ったパンのおすすめポイントを伝えたり、会話を楽しんだりしながら、人間関係を広げている姿が見られました。

③「みぎひだりであそぼう」

教室での活動や体育の学習に取り入れました。「[みぎひだりであそぼう](#)」を視聴するだけで、活動内容を理解することができました。教室では、[動画クリップ「みぎひだりげえむ」](#)を使って、すたあ先生の声を聞いて番組中の子どもたちの動きに合わせて右へ左へと動きました。そのあとに、担任の掛け声で速さを変えながら行いました。

校庭や体育館では、左右だけでなく、上下に動いたり、指示と反対に動く「言うこと反対。やること反対。」の活動を取り入れたりしました。言うこととやることが反対になると、うまく動けずに隣の友達とぶつかりそうになることもあります。広い場所で友達と一緒に体を動かす楽しさを味わうことができます。このように体育の学習や教室で体を動かして遊ぶことで、緊張がほぐれたり、楽しみながら左右の認識ができるようになったりする姿が見られました。



④「がっこうといれのうた」

小学校に入学して、「トイレが怖い。」「一人で行くのが不安。」と言う子どもたちもいます。そこで、「[がっこうといれのうた](#)」を視聴したあとに、小学校のトイレを探検しました。教室に戻り、幼稚園のトイレと小学校のトイレの違いを話し合いました。子どもたちは、「幼稚園のトイレは、鍵がなかった。」「上の方が開いていて、先生たちが見られるようになっていたけど、小学校のトイレは扉を閉めると真っ暗になる。」などと、小学校のトイレについて不安なことなどをみんなで共有しました。また、「がっこうといれのうた」([歌詞カードはこちら](#))をみんなで楽しく歌いました。楽しい歌なので、歌ったあとは、「トイレに行ってきます。」と、自分から言える子が増えました。こちら、「いっといれ～」と楽しい雰囲気でものをかけるようにしました。活動後は、今まで自分から言えなかった子どもが、自信をもって「トイレに行ってきます。」と伝えることができるようになりました。

⑤「『〇〇さんが』げえむ」

国語の「文をつくろう」の単元の導入として、実践しました。「[『〇〇さんが』げえむ](#)」を視聴したあと、①「〇〇さんが」、②「〇〇で」、③「〇〇そうに」、④「〇〇した」のそれぞれのカード([ワークシートはこちら](#))に書く内容を確認しました。特に、③「〇〇そうに」は子どもたちにとって身近ではないと感じたため、例を多く出すようにしました。また、4種類のカードを色分けしておくことで、視覚的に区別しやすくしました。記入後は、4、5人の班になり、①のカードから順に発表をし、班で文章をつくるようにしました。できた文章の中で一番



おもしろいと思ったものをみんなの前で発表しました。「校長先生が」「公園で」「たのしそうに」「おどった」など文章が発表されると、大盛り上がりでした。最後に、全員のカードを4つのかごに入れ、クラス全員で文章をつくる活動を行いました。いろいろな文章が出てきて、授業の時間内には発表しきれませんでしたので、帰りの会にも続きを行いました。このようにして、友達と文章をつくる活動を通して、言葉のもつ面白さに気付く姿が見られました。

「スタートカリキュラム」で私が大切にしていること

子どもたちは、幼児期に幼児教育施設や家庭において多くの経験をしています。まずは、「幼稚園（保育所）の時は、どうしていたの？」「幼稚園と小学校で、違うところはある？」と聞くようにしています。子どもたちは、それぞれの経験をうれしそうに教えてくれます。多くの園から入学してきていますので、少しやり方が異なることもありますが、「小学校でも、似ているよね。」「小学校でもできそうだね。」という声かけをして、今まで自分たちがしてきたこととあまり変わらないし、小学校でも自分たちでできそうだと前向きに考えられるようにしています。

入学後も子どもたちが自己を発揮していけるように、幼児期の経験をしっかりと理解し、それを小学校での教科の学習につなげていくことが大切だと考えます。

『すたあと』をおすすめします！



1年生や低学年を初めて担任する先生は、入学後の子どもたちへの指導に悩む方も多くいると思います。この番組は、スタートカリキュラムや教科等の学習に取り入れられる内容になっていて、短時間でできるものが多くあります。1年生の子どもたちは、5分間の番組を視聴するだけで、活動内容を理解することができます。また、ワークシートなどの教材・資料をダウンロードできるので、すぐに取り組めるところがおすすめです。

「すたあと」を活用することで、期待と不安でいっぱいの1年生の子どもたちが楽しみながら友だちと関わることができ、それが安心した小学校生活を送ることにつながります。また、数遊びやピンゴなどの活動を各教科の学習のスタートとして取り入れることで、教科の学習の理解を助けます。小学校生活のスタートに、「すたあと」をぜひ活用してみたいはいかがでしょうか。

